

やとみのよさん



令和3年度弥富市当初予算のあらまし



弥 富 市

予算の概要



予算って何？

市（市役所）は、市民の皆さんが安心して快適な生活を送ることができるように、皆さんの生活に関わるいろいろな仕事をしています。戸籍や住民票等の発行、税金の収納、道路や公共施設の補修・維持管理、防災・減災対策、学校や保育所の運営、保険・年金・福祉・医療事業、ごみの収集・処分など、その内容はさまざまです。

市がこのような市民サービスや各種施策を実施するのに必要なお金をどこからどれだけ得て、何にいくら使うのか計画すること、これが予算です。

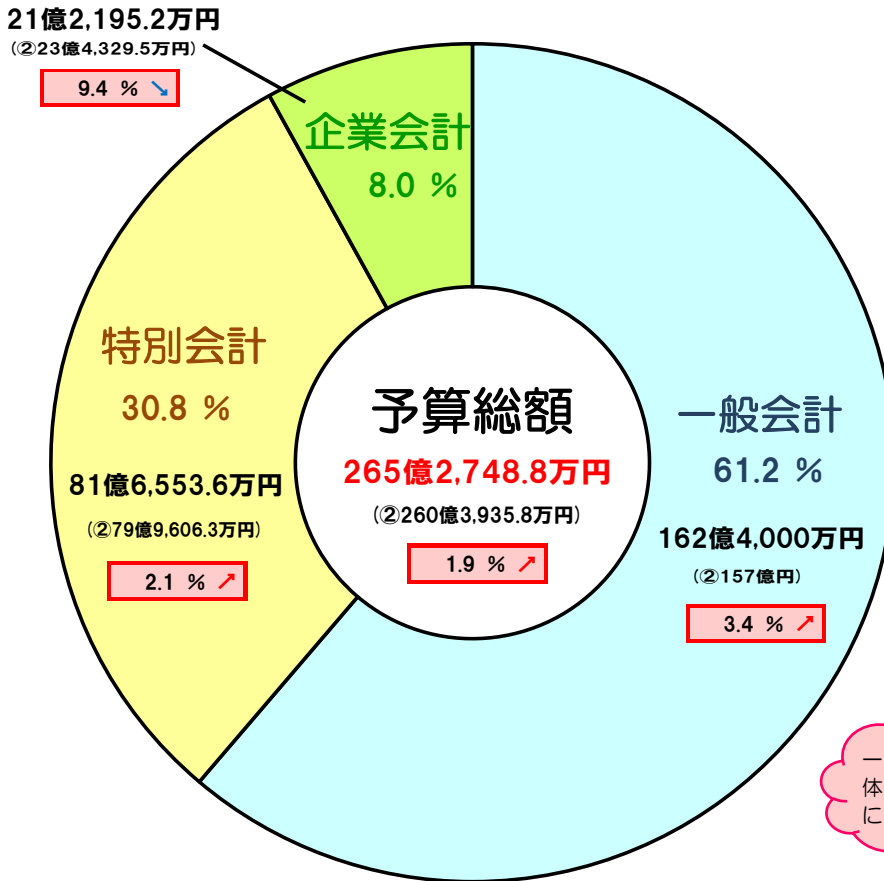


予算っていくらなの？

令和3年度の当初予算の総額

265億2,748.8万円

※一般会計、特別会計、企業会計の合計



Dictionary

当初予算とは、その年度（4月～3月）1年間の予算を最初に決めたものをいいます。これに対して、年度の途中で当初予算が足りなくなったり、余ったりした場合や当初予算にないお金が必要になった場合などに、当初予算を変更するものを**補正予算**といいます。



Dictionary

会計とは、お金の出し入れをする“財布”のようなものです。市の会計は、内容によっていくつかの種類に分けられていて、皆さんが市に納める税金や国・県からの交付金などを使うものを**一般会計**といい、市の仕事を行う上での基本的な会計です。これに対して、皆さんにお支払いいただく保険料で療養費の給付などの保険事業を行うように、そのお金の使い道が決まっているものを**特別会計**、民間企業と同様に皆さんにお支払いいただく料金収入などにより運営するものを**企業会計**といい、一般会計とは区別されます。



特別会計・企業会計ってどんなものがあるの？

区 分	予 算 額	増 減
土地取得特別会計	1.6万円 (②1.3万円)	23.1% ↑
国民健康保険特別会計	39億2,453万円 (②40億1,144万円)	2.2% ↓
後期高齢者医療特別会計	6億7,399万円 (②6億5,638万円)	2.7% ↑
介護保険特別会計	35億6,700万円 (②33億2,823万円)	7.2% ↑
特別会計合計	81億6,553.6万円 (②79億9,606.3万円)	2.1% ↑
下水道事業会計	21億2,195.2万円 (②23億4,329.5万円)	9.4% ↓
企業会計合計	21億2,195.2万円 (②23億4,329.5万円)	9.4% ↓



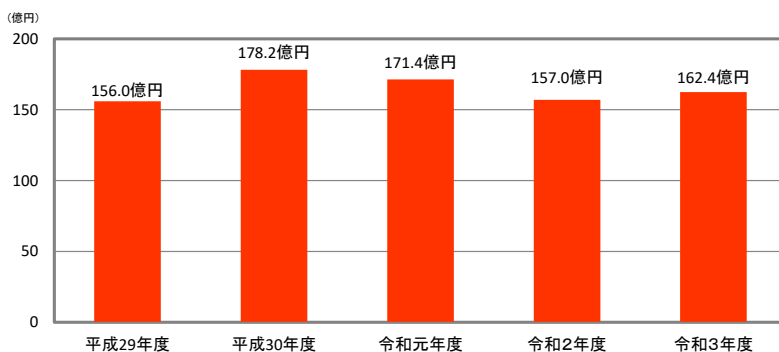
予算ってどうやって決まるの？

予算は、市長が予算案を作成して議会に提出し、議会での審議を経て、議決されることにより成立します。予算が成立してはじめて、市は市民サービスや各種施策を行うための費用を支出することができるようになります。



これまでとどのくらい違うの？

最近5年間の一般会計当初予算額の推移



令和3年度の一般会計の予算は、過去3番目に大きい予算なんだね。



一般会計の歳入と歳出



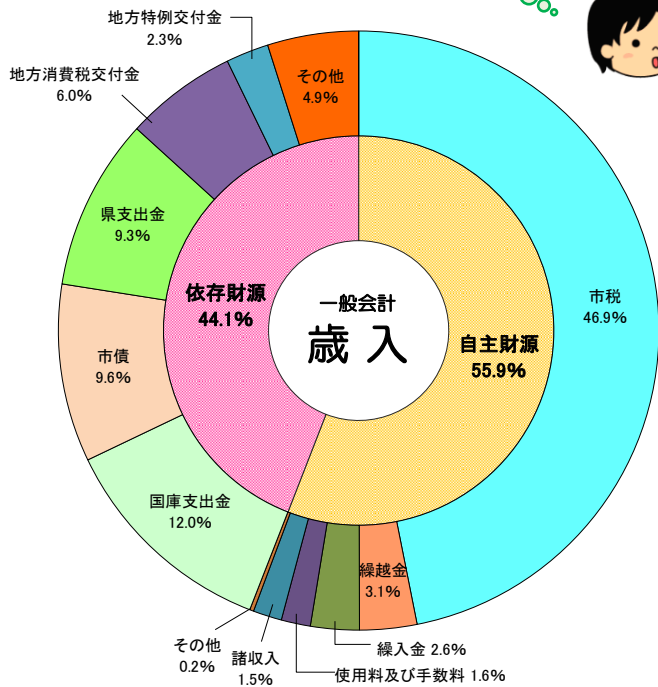
歳入と歳出って？

家庭では、給料や事業利益などの収入を得て、ここから生活に必要な費用を支出します。この家庭での収入と支出が市での歳入と歳出です。つまり、市が仕事をするために、得るお金が歳入、使うお金が歳出です。

一般会計の歳入には、市民の皆さんに納めていただく税金のほか、国・県からの交付金や補助金、借入金、皆さんが施設等を利用した際に負担していただく使用料や手数料などがあります。市はこの歳入のお金を使って、まちづくりや市民サービスに関する各種事業（歳出）を行います。

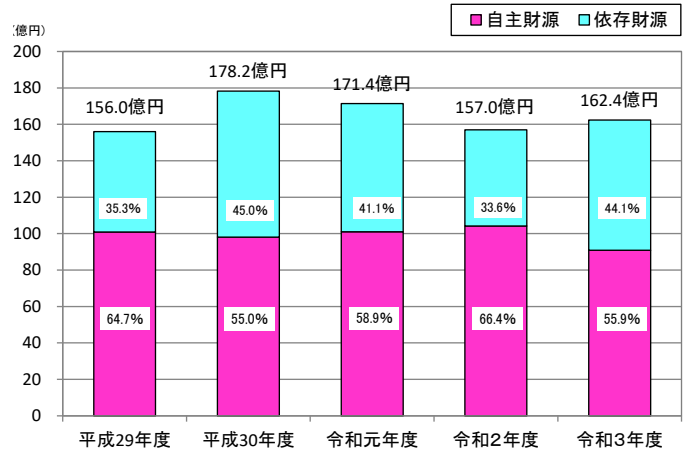
歳入

弥富市の自主財源比率は、毎年だいたい6割ってとこだね。



自主財源と依存財源の割合の推移

※当初予算額での比較



Dictionary

歳入総額に占める自主財源の割合を**自主財源比率**といいます。自主財源比率が高いほど、財政状況が安定しているといえます。

市の歳入って、市民が納める税金以外にも、こんなにたくさんあるんだね。



市税は歳入全体の約半分。国や県からもらうお金や市債などの依存財源は4割程になるんだよ。



令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で大きく市税が減少するけど、その一部は地方特例交付金で補われるんだ。

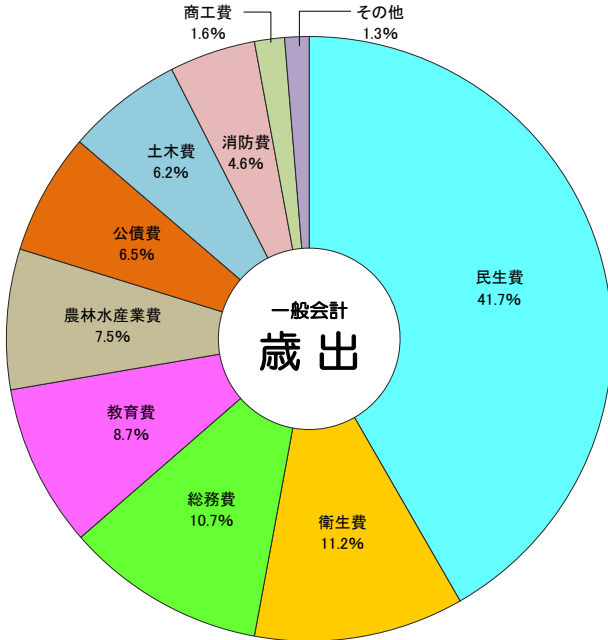


一般会計 歳入内訳

区分	予算額	増減	説明
自主財源	90億8,287.7万円 (②104億2,316.4万円)	12.9% ↓	市が自主的に収入するお金
市 税	76億1,610.3万円 (②84億3,393.2万円)	9.7% ↓	固定資産税、市民税、市たばこ税、軽自動車税、入湯税
繰越金	5億円 (②5億円)	0.0% →	前年度の予算の余りを翌年度に持ち越したお金
繰入金	4億2,574.9万円 (②9億7,687.9万円)	56.4% ↓	積立金の取崩しや特別会計から一般会計に移動させたお金
使用料及び手数料	2億5,535.4万円 (②2億4,272万円)	5.2% ↑	公共施設の使用料や保育所の利用料のように、利用者などが支払うお金
諸収入	2億5,127万円 (②2億4,648.4万円)	1.9% ↑	預金利子、延滞金 など
その他	3,440.1万円 (②2,314.9万円)	48.6% ↑	土地の貸付けなどによる財産収入、分担金や負担金 など
依存財源	71億5,712.3万円 (②52億7,683.6万円)	35.6% ↑	国や県からの交付金・補助金などのお金
国庫支出金	19億4,756.7万円 (②16億3,244.3万円)	19.3% ↑	特定の事業のために国から交付されるお金
市 債	15億6,690万円 (②7億5,650万円)	107.1% ↑	国や金融機関などから借りるお金
県 支 出 金	15億7,154万円 (②10億8,039.2万円)	39.5% ↑	特定の事業のために県から交付されるお金
地方消費税交付金	9億8,000万円 (②9億8,000万円)	0.0% →	国が徴収した地方消費税の中から、市に交付されるお金
地方特例交付金	3億7,400万円 (②4,700万円)	695.7% ↑	国の制度による市税などの減収を補うために交付されるお金
その他	7億8,150.2万円 (②7億8,050.1万円)	0.1% ↑	上記以外で国や県からもらうお金
合計	162億4,000万円 (②157億円)	3.4% ↑	



歳出



民生費が一番大きくて、歳出全体の4割くらいを占めているね。

高齢者や児童、障がい者の福祉だったり、子育て支援なんかがあるからなあ。やっぱり福祉には、たくさんお金が必要なんだね。



一般会計 歳出内訳

区分	予算額	増減	説明
民生費	67億7,906.7万円 (266億358.1万円)	2.7% ↑	高齢者・児童・障がい者福祉、生活保護、子育て支援などの事務・事業に使うお金
衛生費	18億1,257.6万円 (217億6,080.9万円)	2.9% ↑	ごみ処理や公害対策など、環境・保健衛生に関する事務・事業に使うお金
総務費	17億4,307.3万円 (217億6,819.6万円)	1.4% ↓	課税・徴収、住民登録、選挙、統計など、市の総合的な事務・事業に使うお金
教育費	14億1,131.8万円 (212億6,864万円)	11.2% ↑	学校の運営や公民館活動、スポーツ振興などに使うお金
農林水産業費	12億1,520.4万円 (28億8,242.8万円)	37.7% ↑	農業や林業、漁業を始めとした水産業の支援・活性化、土地改良事業などに使うお金
公債費	10億5,432万円 (210億8,633.1万円)	2.9% ↓	借りたお金(市債)の返済金
土木費	10億40.1万円 (211億3,039.5万円)	11.5% ↓	道路・公園などの施設の整備や維持管理、都市計画事業などに使うお金
消防費	7億5,336.8万円 (27億3,548.5万円)	2.4% ↑	消防活動や災害対策のために使うお金
商工費	2億5,800.2万円 (22億5,079万円)	2.9% ↑	中小企業の支援や観光振興、労働者福祉などに使うお金
その他	2億1,267.1万円 (22億1,334.5万円)	0.3% ↓	議会の運営・活動に使うお金など
合計	162億4,000万円 (2157億円)	3.4% ↑	

市民1人あたりの歳入・歳出の額

歳入

市民1人あたりが負担する税額

固定資産税 <small>土地や家屋、償却資産(事業用資産)にかかる税</small>	101,594円 (44億9,930.3万円)
市民税 <small>個人の所得や法人の収益に対してかかる税</small>	61,438円 (27億2,090万円)
市たばこ税 <small>たばこの消費に対してかかる税</small>	6,322円 (2億8,000万円)
軽自動車税 <small>軽自動車、自動二輪車などに対してかかる税</small>	2,594円 (1億1,490万円)
入湯税 <small>温泉に入るときにかかる税</small>	23円 (100万円)
合計	171,971円 (76億1,610.3万円)

歳出

市民1人あたりに使われる金額

民生費 <small>(67億7,906.7万円)</small>	153,071円
衛生費 <small>(18億1,257.6万円)</small>	40,928円
総務費 <small>(17億4,307.3万円)</small>	39,359円
教育費 <small>(14億1,131.8万円)</small>	31,868円
農林水産業費 <small>(12億1,520.4万円)</small>	27,439円
公債費 <small>(10億5,432万円)</small>	23,807円
土木費 <small>(10億40.1万円)</small>	22,589円
消防費 <small>(7億5,336.8万円)</small>	17,011円
商工費 <small>(2億5,800.2万円)</small>	5,826円
その他 <small>(2億1,267.1万円)</small>	4,802円
合計	366,700円 (162億4,000万円)

* 金額は、それぞれの予算額(カッコ内の額)を令和3年1月1日住民基本台帳人口の44,287人で割ったものです。



難しい用語も、家計に置き換えてみるとわかりやすくなるね。

一般会計を家計に当てはめると...

年間の収入総額を500万円として計算

歳入

家計	市の予算
給料などの基本的な収入	290.9万円
親などからの援助	115.7万円
パート・家賃収入など	16.7万円
預金の引き出し、前年の残金	28.5万円
金融機関からの借入れ	48.2万円
合計	500万円
市税、地方譲与税、交付金など	94億4,960万円 (58.2%)
地方交付税、国・県支出金	37億5,672万円 (23.1%)
分担金及び負担金、使用料及び手数料、諸収入など	5億4,103万円 (3.3%)
繰入金、繰越金	9億2,575万円 (5.7%)
市債	15億6,690万円 (9.7%)
合計	162億4,000万円 (100.0%)

歳出

家計	市の予算
食費・日用品などの生活費	195.1万円
医療費・教育費など	94.1万円
ローンの返済	32.5万円
家屋や家電品などの修理	5.1万円
子どもへの仕送りなど	117.6万円
家屋の増改築・車の購入など	54.7万円
貯金	0.9万円
合計	500万円
人件費、物件費	63億3,840万円 (39.0%)
扶助費	30億5,764万円 (18.8%)
公債費	10億5,432万円 (6.5%)
維持補修費	1億6,404万円 (1.0%)
補助費等、貸付金、繰出金など	38億2,018万円 (23.5%)
投資的経費	17億7,569万円 (11.0%)
積立金など	2,973万円 (0.2%)
合計	162億4,000万円 (100.0%)

令和3年度の主な施策

交通対策事業

地域公共交通活性化事業〈継続〉

1億1,616.4万円

通学、通勤、通院、買物など市民の生活のための移動手段の確保と公共交通空白地域の解消を目的として、平成22年6月に運行を開始したコミュニティバスについて、引き続き適正かつ効率的で安全な運行に努める（北部・南部・東部の3ルートを中型バス2台・マイクロバス3台で運行）。また、令和3年度においては地域公共交通計画に基づき、バス1台を増車して、南部ルートにおいて急行便の社会実験運行を実施する。



福祉関連事業

児童手当支給事業〈継続〉

7億4,809.5万円

中学校以下の児童を養育している保護者や施設設置者に対して、児童手当（特例給付）を支給します。

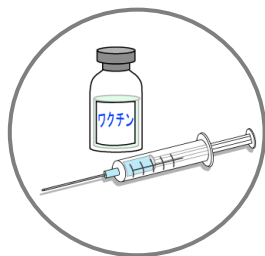


衛生関連事業

新型コロナウイルスワクチン接種事業〈継続〉

2億1,917.6万円

新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、ワクチン接種を集団接種及び個別接種で実施します。



市営火葬場建設事業

市営火葬場建設事業〈継続〉

4億4,423.1万円

築40年以上が経過している火葬場の建て替えを行い、環境問題等多種多様な問題を解決し、会葬者が快適かつ安全で安心して故人との最後のお別れが行えるような施設にします。





産業振興事業

農業振興事業〈継続〉

生産調整推進対策の支援事業	3,750万円
土地改良施設整備事業	7,660万円
経営体育成基盤整備事業	1,010.5万円
地盤沈下対策事業	2,733.2万円
特定農業用管水路特別対策事業	3,819万円
緊急農地防災事業	2,376万円
多面的機能支払事業	1億4,877.6万円

効率的な営農に向けて、農地集積、農地の適正管理、集約化の推進に取り組むとともに、農地や農業用施設等の湛水被害を未然に防止するため、農地防災事業を推進します。



道路ネットワーク整備事業

市道整備事業〈継続〉

道路改良工事	3,930万円
交通安全施設整備等工事	1,300万円
道路維持修繕工事	3,480万円
橋梁点検及び橋梁工事	1億1,000万円

市民の安全性・利便性の向上を図るため、市道の整備を計画的、効率的に促進し、市街地内の交通量の緩和及び安全で安心なまちづくりを推進します。



生活基盤整備事業

公共下水道事業〈継続〉

8億6,356.2万円

公共下水道事業は、汚水適正処理構想に基づき人口密集区域を重点整備区域として、効率的な整備と事業のコスト縮減の取り組みを進めることとし、佐古木地区・下之割地区・上六地区・五明地区の整備を進めます。



教育環境整備事業

歴史民俗資料館移転事業〈新規〉

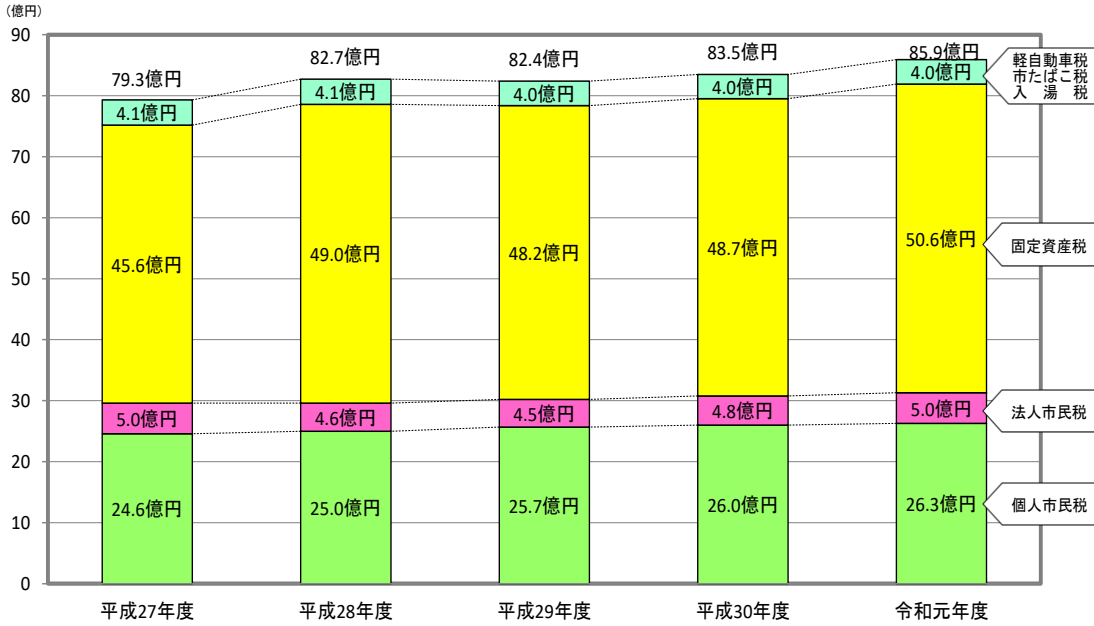
8,785.6万円

現在の歴史民俗資料館の老朽化に伴い、図書館棟1階の保健センター跡を改修し、歴史民俗資料館を移転します。あわせて2階部分の一部改修を行い、図書館棟の魅力化を図ります。



参考資料

市税収入の推移



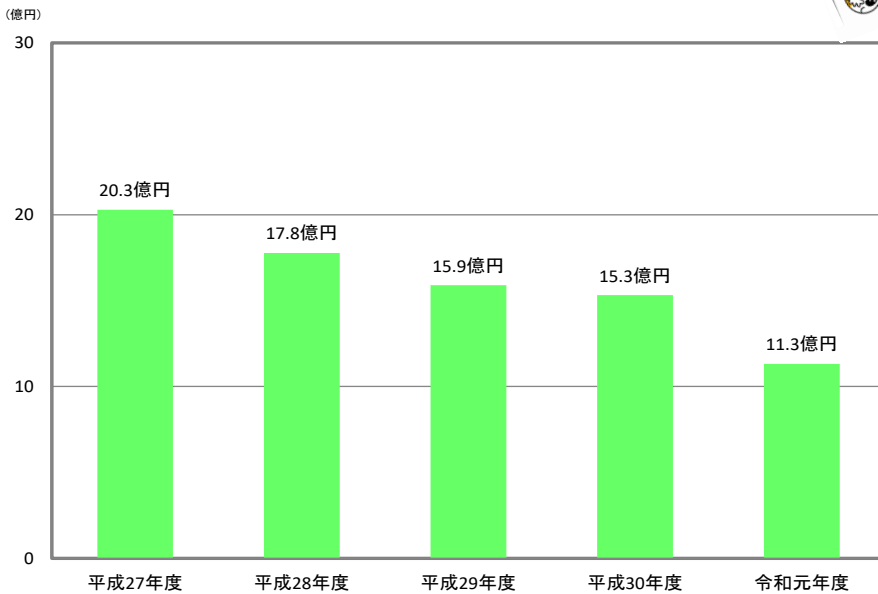
市民の皆さんからお預かりした大切なお金を、市民サービスや各種施策に有効に活用していきます！



平成30年度に比べて、固定資産税が大きく伸びているね。



財政調整基金の年度末残高の推移



Dictionary

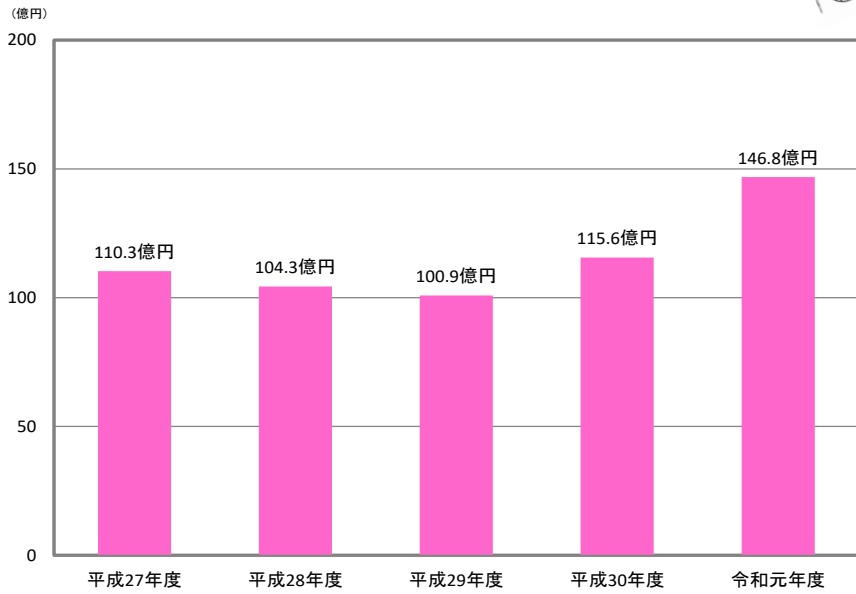
地方公共団体が特定の目的のために積み立てた資金や資金運用のために設けた財産を**基金**といいます。**財政調整基金**は、社会の不況で税収が大幅に減ったり、災害が発生して急にたくさんのお金が必要になった場合などに備えて積み立てている市の**貯金**です。

家庭と同じように、市もいざというときのために、貯えが必要だね。





市債（一般会計分）の年度末残高の推移

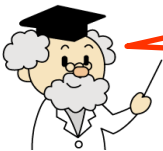


Dictionary
 地方公共団体が資金調達のために、国や金融機関などから借りるお金（債務）を**地方債**といい、市が借りるものが**市債**です。この地方債は、何年もの長い期間をかけて返済していくもので、借りた年度内で返済するもの（一時借入金）は含みません。地方債は、お金の使用目的などによって、たくさんの種類があり、その借入先もさまざまです。

市債で借入れをする大きな理由としては、“**毎年の財政負担を平均化すること**”と“**現在と将来の市民の負担を公平にすること**”が挙げられるよ。

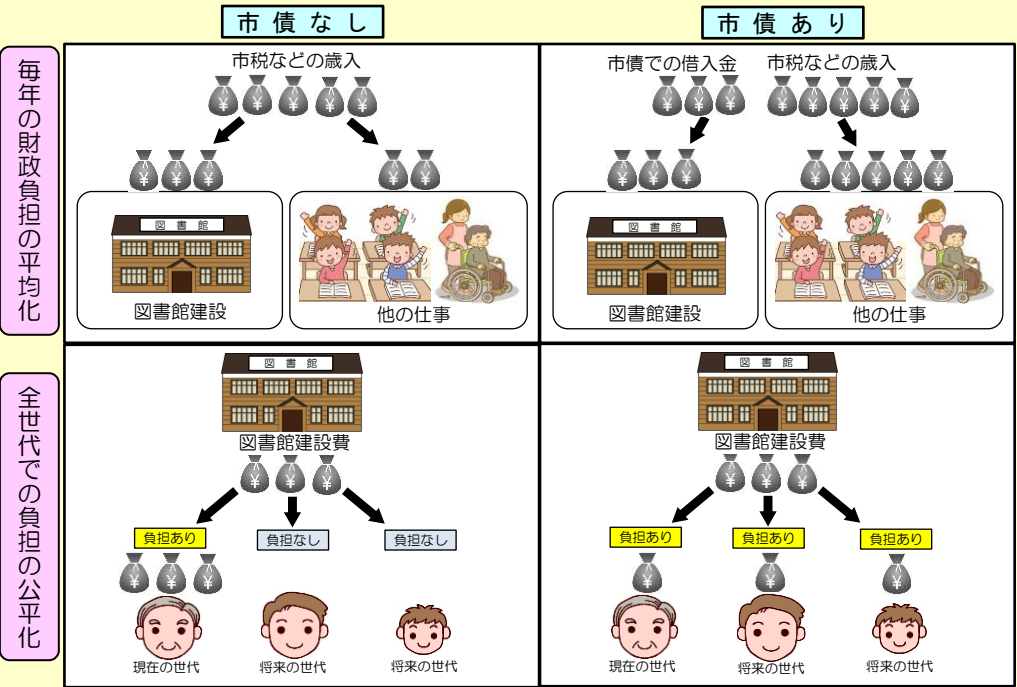


どうして借金をしなければならないの？



市債で借金をすると…

例えば、市が今年度、新しい図書館を建設するとします。大規模な公共施設の建設ですので、当然、多額の費用がかかりますし、建てた図書館は、この先何十年と市民の皆さんに使っていただくこととなります。この建設費を、市債での借入れをせずに、市税などの歳入だけで今年度すべて支出することになると、その分、他の仕事にお金がまわらなくなり、必要な市民サービスの提供に支障を来すこととなります。また、現在の市民が費用を全額負担することになるため、将来の市民は負担なしで使用することになり、世代間の不公平が生じます。そこで、市債での借入れを行い、20年・30年といった長期間にわたって返済することによって、他の仕事に影響がないようにするとともに、現在の市民から将来の世代の市民までが平等に建設費を負担するようにしています。





編 集	愛知県弥富市総務部財政課
発行年月	令和3年3月
所在地	愛知県弥富市前々須町南本田335
電 話	0567-65-1111(代表)